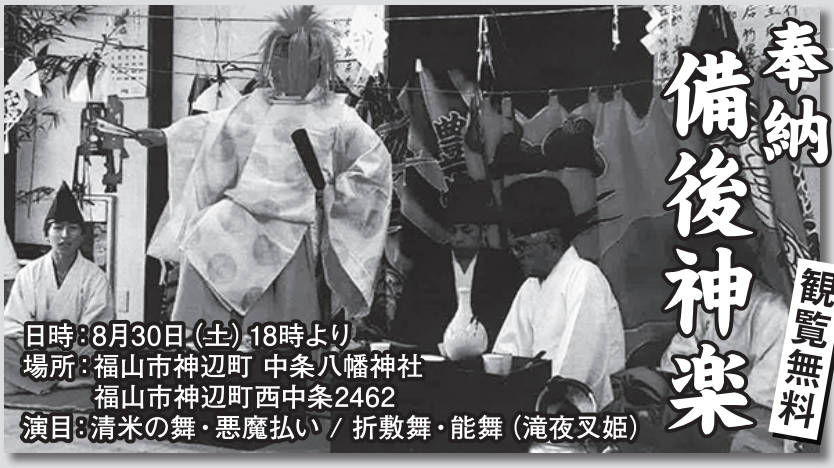
令和七年度 奉賛準備計画

4月	行事 13日 陰陽石祭　27日 奉賛会発足
5月	
6月	
7月	奉賛会 会報発行・企業訪問
8月	行事 30日 神楽奉納
9月	行事 神社諸費集金　奉賛会 企業訪問
10月	行事 16～19日 例祭
11月	奉賛会 会報発行・奉賛金集金
12月	
1月	行事 1日 新年祭
2月	
3月	



檜皮葺

檜皮葺とは檜の樹皮を用いて施工する屋根工法の一つである。２０２０年「伝統建築工匠の技」としてユネスコの無形文化遺産に登録された。

皇極天皇（在位６４２年～４５年）の新宮殿が檜皮葺とされ、天皇の私邸や格式のある寺院に用いられ、６６８年崇福寺諸堂の檜皮葺が最古のものである。

樹皮を採取する檜は樹齢70から80年以上の幹径60㎝以上のものを用いる。再び採取するのには8～10年回復を待たねばならない。専門職「原皮師」により採取された「樹皮」は「檜皮葺師」により「拵え（こしらえ）」と呼ぶ加工をして長さ75㎝幅15㎝にそろえ2～3枚重ね合わせ檜皮を形成する。軒先に檜皮を積み重ね高さ10数センチの軒付を作り檜皮を6㎜ずつ重ね竹釘を使って固定する作業を繰り返す。出来上がった檜皮葺屋根は厚さ10㎝程になり、約40～50年耐用できる。

【代表的な建築物】

出雲大社本殿、厳島神社本殿・祓殿、賀茂別雷神社本殿、石上神宮拝殿、吉備津神社本殿・拝殿、清水寺本殿、善光寺本殿、香取神宮本殿、京都御所、八坂神社

奉賛会委員名簿

伊地	松岡	辰三
伊地	松岡	敏文
伊地	松岡	敏弘
伊地	松岡	光昭
木之内	神原	務
木之内	藤井	一男
木之内	藤木	真由美
中組	坂根	慎二
中組	高田	正
中組	瀬尾	龍巳
南組	佐藤	享市
南組	松岡	武史
本谷	田中	宏行
本谷	大下	辰義
山田	松田	宗久
山田	山成	孝信
深水	宮野	久行
深水	山田	敏弘
藤森	平賀	久信
川西東	橘高	秀樹
川西東	加藤	文康
川西東	平川	孝造
川西西	岩森	逸美
川西西	堀田	琢哉
川西西	三好	勝広
川西中	藤原	武
川西中	藤原	章弘
川西中	高田	大輔
神社	吉田	令江
神社	吉田	昌雄

八幡神社屋根葺替について奉賛のご理解とご協力について

本殿屋根葺替工事費用は総額約5、000万円です。氏子の皆様には今年から6年間にわたって奉賛を募ります。氏子の皆様から1件6万円（一口1万円の奉賛を6年間）の奉賛をお願いいたします。毎年11月に担当者が奉賛金の集金にお伺いいたします。

＊奉賛金の目標

氏子の皆様
6万円×650世帯
＝3、900万円

篤志家・企業
1、100万円

合計
5、000万円